

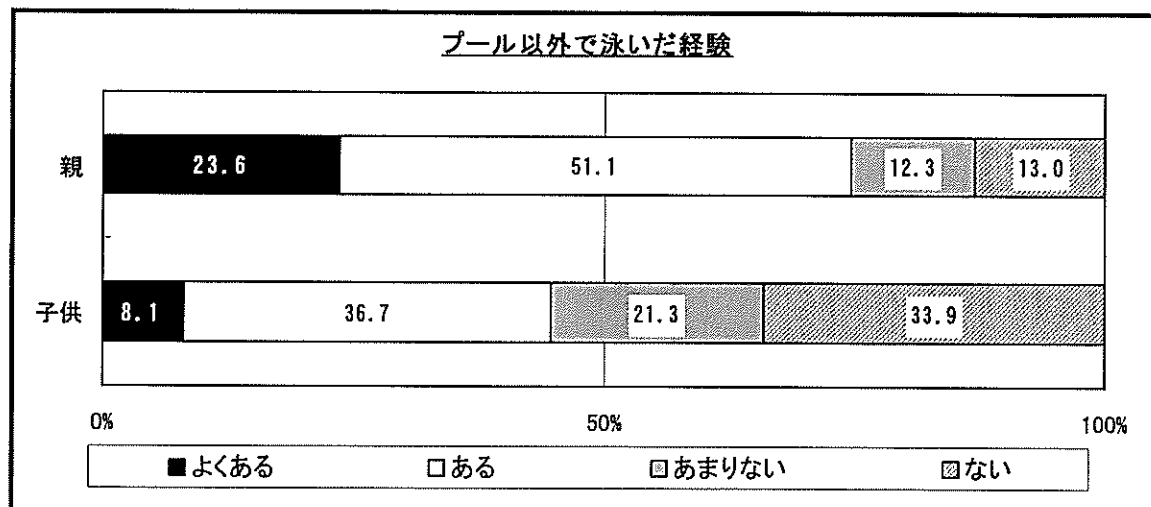
日常生活と水

Q.あなたは海・川・湖などプール以外で泳いだことはありますか？

Q.あなたの子供はどうですか？（子供・孫がいる人だけ回答／N=433）

◇3割以上の子供が『プール以外で泳いだことのない』

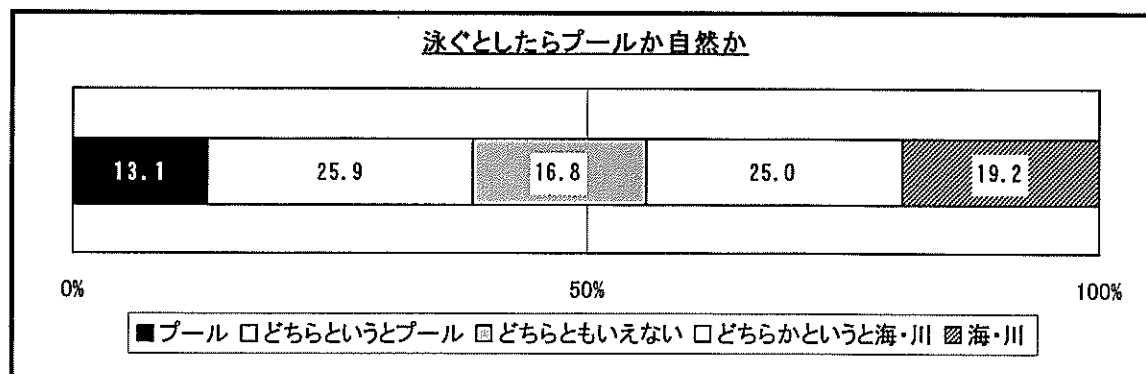
本人（大人）と自分の子供について、自然の海・川・湖で泳いだ経験を聞きました。本人（大人）の場合は、74.7%が『よくある』または『ある』としていますが、自分の子供については『ない』がおおよそ3人に1人（33.9%）。『あまりない』（21.3%）と合わせると過半数（55.2%）の子供が、自然の水ではほとんど泳いだことがないという結果になりました。



Q.泳ぐとしたら「清潔なプール」か「自然の川・海」のどちらがよいですか？

◇“自然派”が“プール派”を若干上回る

清潔なプールと自然あふれる海や川。泳ぐとしたらどちらがよいでしょうか。結果は、“自然派”（『自然の海や川がよい』と『どちらかというと海や川がよい』の合計）が44.2%、“プール派”（『清潔なプール』と『どちらかというとプールがよい』の合計）が33.9%と、やや“自然派”が優勢でした。



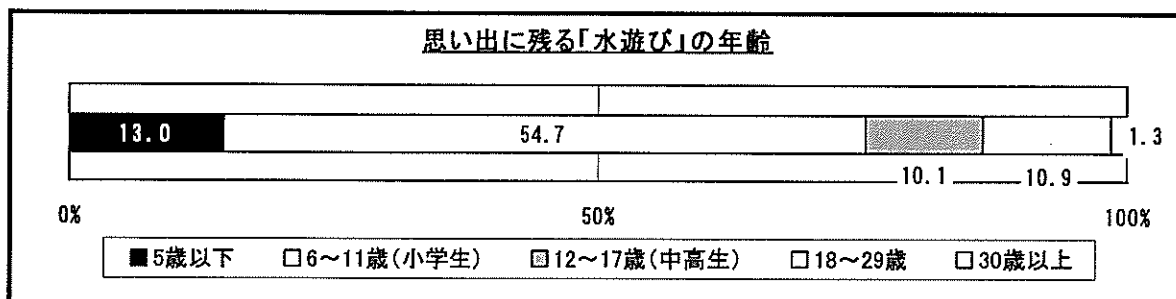
Q.思い出に残る「水遊び」は、何歳頃、どこで、何をしたことですか？

◇『小学校の頃』(54.7%)、『海で』(39.5%)、『水泳をした』(28.5%) 思い出

思い出に残っている印象深い「水遊び」または「水辺での遊び」について、何歳の頃、どこで、どのような種類の遊びをしたかを聞きました。「年齢」については過半数の54.7%が『6～11歳(小学時代)』としており、思い出の「水遊び」の場所は、『海』(39.5%)や『川』(31.8%)が多数派でした。また「水遊び」の種類については、『水泳』(28.5%)が圧倒的トップでした。

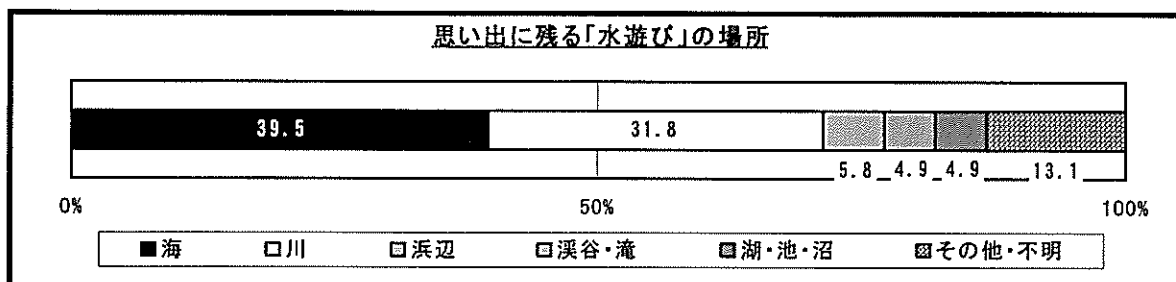
■何歳頃の思い出か？(年齢を記入)

半数以上の54.7%が『6～11歳』の頃と答えました。『5歳以下』、『12～17歳』、『18～29歳』を挙げた回答者はいずれも1割前後で、小学生時代に経験した「水遊び」がもっとも印象深いと思っている人が多数を占めました。



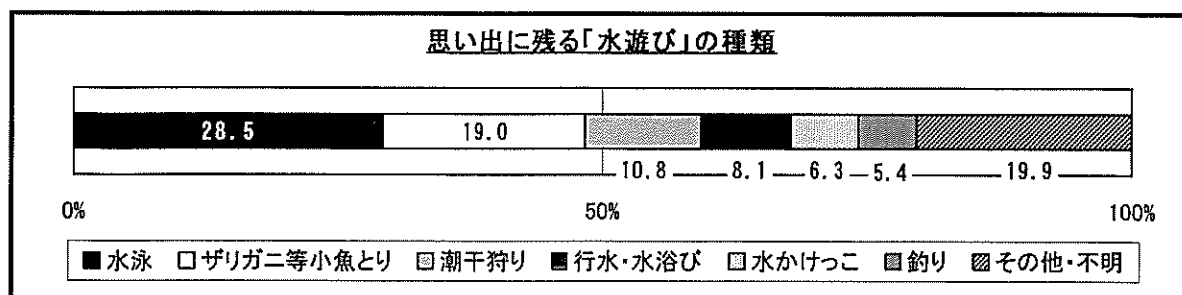
■どこで体験した思い出か？(14択+その他)

1位の『海』(39.5%)と2位の『川』(31.8%)に回答が集中。3位以下は『浜辺』(5.8%)、『湖・池・沼』(4.9%)などと続きましたが、いずれも1割に達しませんでした。



■どんな「水遊び」をした思い出か？(17択+その他)

トップの『水泳』(28.5%)以下、『ザリガニ、めだか等の小魚とり』(19.0%)、『潮干狩り』(10.8%)、『行水、水浴び』(8.1%)などと続きました。上位はいずれも、少なくとも大都市では、昔ながらの形ではできなくなっているもの、といえるのではないのでしょうか。



Q.思い出の「水遊び」を最近しましたか？

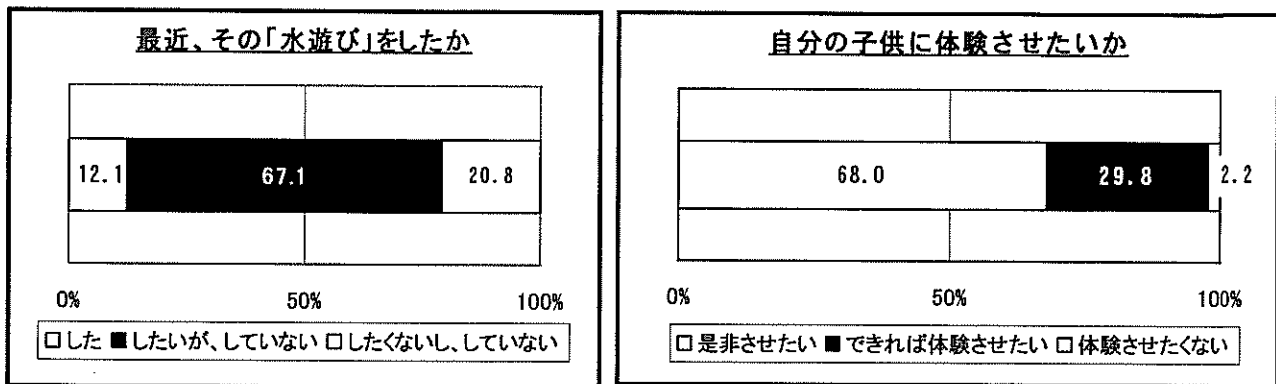
Q.自分の子供（孫）にその「水遊び」を体験させたいと思いますか？

◇67.1%が思い出の「水遊び」を『したいが、していない』

◇自分の子供にも『是非（体験）させたい』が68.0%

前問の「思い出に残る水遊び」について、「最近、その遊びをしたか?」、「その遊びを自分の子供や孫（いない方の場合はいと仮定して）に体験させたいと思うか?」の2点について答えてもらいました。

「最近したか?」については、『した』は12.1%にとどまり、『したいが、していない』(67.1%)が多数を占めました。「子供に体験させたいか?」については、68.0%が『是非させたい』と回答、『させたくない』はわずか2.2%でした。



Q.水にかかわることで、子供に伝えたいと思うことは？（10 択+その他/複数回答）

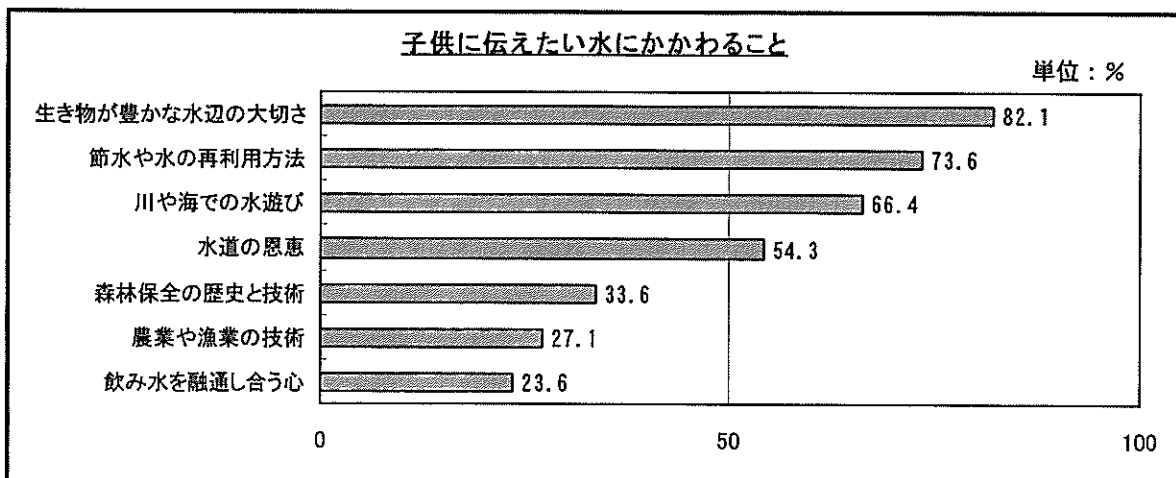
◇もっとも子供に伝えたいことは『生き物が豊かな水辺の大切さ』

◇50代以上で高い『水道の恩恵』『森林保全の歴史と技術』

「水遊び」に限らず、水にかかわるあらゆることで、子供に伝えたいことを聞きました。

トップは『生き物が豊かな水辺の大切さ』で82.1%、以下『節水や水の再利用方法』(73.6%)、『川や海での水遊び』(66.4%)、『水道の恩恵』(54.3%)までが5割を超えました。

年代別に見ると、『川や海での水遊び』は20代の76.0%に対して50代以上は57.4%、『水道の恩恵』は20代の47.3%に対して50代以上は66.0%、いずれも20ポイント近い差が出ました。また『森林保全の歴史と技術』は、20代(26.7%)・30代(25.2%)と50代以上(49.6%)で25ポイント近くの開きがありました。



子供に伝えたい水にかかわること〔年代別比較で差異が大きいものを抜粋〕

	20代	30代	40代	50代以上
川や海での水遊び	76.0%	71.0%	61.0%	57.4%
水道の恩恵	47.3%	53.4%	50.7%	66.0%
森林保全の歴史と技術	26.7%	25.2%	32.4%	49.6%

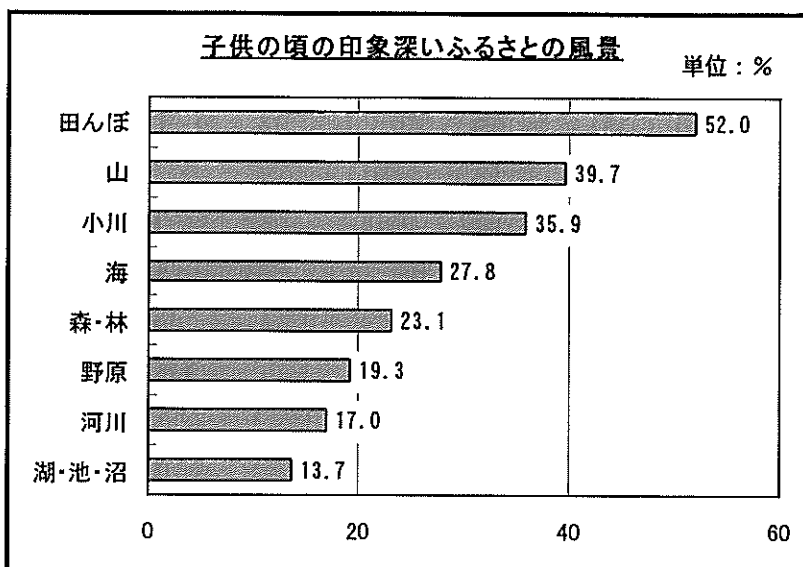
Q.子供の頃の印象深いふるさとの風景は？（10択+その他/複数回答）

◇トップは『田んぼ』で5割を超える

「うさぎ追いし…」でおなじみの唱歌「ふるさと」を例に出すまでもなく、誰にでも子供の頃のなつかしい思い出と結びついた、印象深い風景があるのではないのでしょうか。

1位は唯一5割を超えた『田んぼ』（52.0%）でした。以下『山』、『小川』、『海』などと続きました。

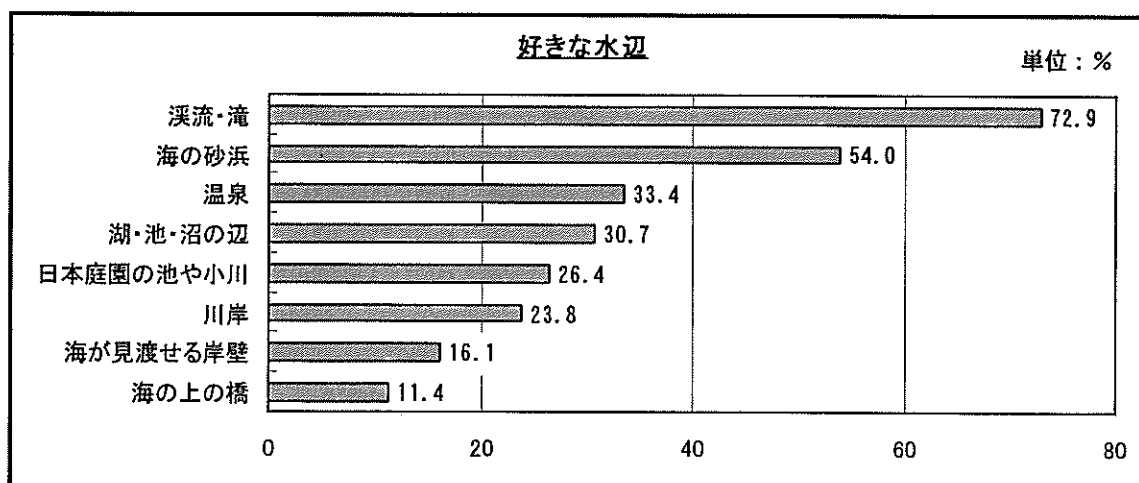
『田んぼ』はあらゆる年代でトップを占めており、まさに日本人の心に残る風景といえそうです。



Q.あなたが好きな水辺は？（15択+その他/3つまで選択）

◇都会人の人気トップは『溪流・滝』（72.9%）

トップは他を引き離して『溪流・滝』でした。『海の砂浜』（54.0%）も半数を超えました。都会人は両者に“癒しのイメージ”を強く感じているのかもしれませんが。

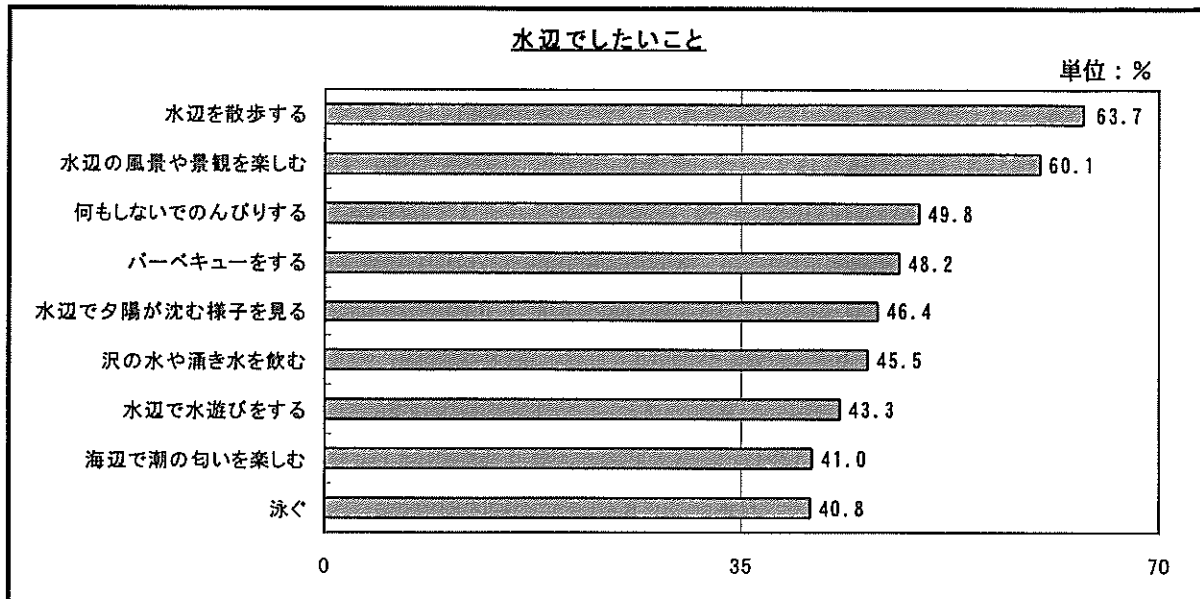


Q.水辺でやってみたいことは？（22 択＋その他／複数回答）

◇都会人は疲れている!?

トップ3は“癒し系”の『散歩』『風景や景観』『何もしないでのんびり』

トップ3は『水辺を散歩する』（63.7%）、『水辺の風景や景観を楽しむ』（60.1%）、『何もしないでのんびりする』（49.8%）で、いずれも「静かに自然を楽しむ」という風情の回答でした。能動的な活動としては4位に『バーベキューをする』（48.2%）、9位に『泳ぐ』（40.8%）が入っているくらいで、上位には癒しを求めるような回答が並びました。



Q.水のありがたさを感じる時？（11 択＋その他／複数回答）

◇ありがたさを感じるトップ3は

『給水制限が行われているとき』『のどの渇きを癒すとき』『自然の水に接するとき』

大都市生活者が「水のありがたさ」を感じるのは、どんなときでしょうか。

1位『給水制限が行われているとき』（67.5%）、『水を飲んでのどの渇きを癒すとき』（66.6%）、『海や川などの自然の水に接するとき』（53.4%）までが5割を超えました。

